

## 私を導いてくれたあなたへ

カン・メイ・ボン

もしあの頃の自分に会えるなら、どんな言葉をかけたいのか—  
その思いを、今日は皆さんと共有したいと思います。

子どものとき、よく聞かれた質問はありませんか。私にとっては、「大人になつたら何になりたいですか」という質問でした。この質問の答えは何だと思いますか？私の国ミャンマーでは、「医者になりたい」という答えが一番望ましい答えだとされています。私も聞かれたとき、そう答えていました。小学生の時も、中学生の時も、『医者になりたい』と言っていました。

でも、高校生になって、ある日「私は医者になりたくない」と気づいたのです。さらに悪いことに、何になりたいのかも 全然わかりませんでした。私の国では高校の2年間が人生の中で最も大事な時期です。その2年間に将来のことを決めて、大学入学試験を受けます。周りの同級生たちが もう自分の道を決めて入学試験に向けて頑張っていた時、私は迷っていて毎日不安でした。

私は自分を見つけたくて、勉強も 頑張って、学校の色々なイベントも参加して、ボランティア活動もして何でもやってみました。いつか本当の夢が見つかると思っていました。それでも、私はゴールのないマラソンを走っているようでした。高校を卒業した後、両親にすすめられた大学に入りました。大学でも勉強したけど、心の中ではまだ迷っていました。

そして、2021年2月、大学卒業する一学期まえ、私の国で軍事クーデターのせいで、退学させられました。その時の私は、絶望と不安でいっぱいでした。卒業して就職すると思っていた私にとっては、それは、人生で一番辛い時でした。

そんな時、ある日、新聞奨学生という機会がありました。新聞奨学生とは、新聞配達をしながら学費や生活を支援してもらえる制度です。私はもう一度最初から始めようと決めて2022年4月1日に新聞奨学生として日本へ来ました。毎日2回新聞を配りながら、日本語学校に通いました。そして日本語学校を卒業して、私は横浜国立大学に入学しました。

今、私は素晴らしい横国で学び、優しくてすごい先生たちに教えられ、たくさんの面白い友達たちと出会い、色々な経験をしています。毎日幸せです。それに私の夢も見つけました。

今の私は昔の自分に伝えたいことがいっぱいあります。一番言いたいのは『ありがとう、もう心配しなくてもいいよ』というメッセージです。10年前のカンさん、迷いながら、不安で困りながらも一生懸命努力してくれてありがと

う。迷ってもいい。分からなくてもいい。どんな経験も、どんな辛い時間も、全てはあなたを導くためにある。たくさん挑戦して、いろいろな経験をしてくれたおかげで、夢を見つけ、幸せを手に入れました。心配しなくてもいいよ。あなたのおかげで、私はここにいます。ありがとう。